

## 日本ビリヤード協会関東支部 令和3年度事業報告

※新型コロナウイルス感染が全国的に拡大している状況です。大会の延期・中止等が既に多数出ていて、今後の見通しが不明瞭でした。

こうしたなか、極力リスクをとり、ビリヤード事業がとまらぬよう努力いたしました

### 1 競技

必須要件となる各種ガイドライン類の整備及びその運用に取り組んでいます。今後も既存規程の見直し修正を行い、トーナメントの実施に取り組めます

J A P A（日本アマチュアポケットビリヤード連盟）との連携も円滑になっております。

また他支部との連携もはかり、今年度はすべての競技が円滑に運営できるよう努力します。

特に日本主催大会 全日本スリークッション 全日本アマ四つ球

全日本女子スリークッションなど感染対策に注意しながら執り行いました。

※ジュニアは中止 全日本スリーは 8月 東京新大久保コバヤシブライト

全日本女子はヤマニ 全日本四つ球は学士会館ともに7月開催いたしました

### 2 組織

盤石な組織基盤構築を目指しました。今期 あらたに加盟店活性化委員会を設けました

また 段級位などの資格 会員の 整理 正会員リストの整理などもおこないました

### 3 普及事業・普及活動全般

本部より打診のございました全日本学校対抗9ボール無事終了いたしました。

コロナウイルスなどで 学生選手権は開催未定となりましたが令和5年からは

再開したいと思っております。

### 4 財政規律

厳しい財政状況の中 透明性をもって 活動内容や財務内容を 逐次 整理発信して

協会全体に対する 不信感を 極力払拭するように 努力しました。まだいたらないところもありますがよろしく願いいたします

### 5 (公社) 日本ビリヤード協会に関する提言

加盟団体として大会ガイドラインの修正など提言いたしました

令和4年6月

令和3年 日本ビリヤード協会関東支部 収支決算書

令和4年3月31日現在

収入の部	金額	備考	支出の部	金額	備考
会費収入	936,000		事業費	7,110,795	
			大会開催事業費	237,600	段位戦メダル
正会員会費収入	926,000	加盟店年会費		6,484,723	トーナメント経費
入会金会費収入	10,000	yotsuya		14,300	賞状代金
			広報費	65,272	カレンダー作成
大会開催収入	7,313,300		大会広告料	114,900	
関東地区大会収入	7,074,500	段位戦ほかトーナメント	遠征費補助	140,000	
	238,800	大会店舗分担金	段級位認定事業費	54,000	段位書き換え料
			管理費	1,376,270	
			支部分担金	500,000	公社)日本ビリヤード協会分
補助金収入	370,100		職員人件費	420,000	3万×9か月 5万×3か月
プレーヤー登録還付補助金	170,100	CSカード本年度243名※1	雑費	96,270	郵送代事務用品コピーなど
協力金収入	200,000	公社日本協会協力金	事務所賃料	360,000	新宿区霞ヶ丘町4-2-704号室使用料
			協力金	150,000	
			普及事業振興協力金	150,000	本部協力金会計納入
未収入金	266,314		未払金	84,000	
	212,314	学校対抗本部負担分		30,000	加盟店会費過入金JM
	54,000	令和3年まで加盟店会費	段級位認定事業費	54,000	段級位公社)日本ビリヤード協会支払い分※2
	7,000	大会店舗分担金			
収入合計	8,892,714		支出計	8,721,065	
			今期収支差額	171,649	
			前期繰り越し	2,405,971	
			次期繰越収支差額	2,577,620	
前受け金	1,310,000	全日本3C4年分出場費広告協賛費	前受金も含めた現金在高	3,887,620	

※1 CSカードの補助金は1名あたり700円 ※2 昇段認定料(スリークッション段位戦)

## 日本ビリヤード協会関東支部 令和4年度事業計画

### 1 競技

必須要件となる各種ガイドライン類の整備及びその運用に取り組んでいます。今後も既存規程の見直し修正を行い、トーナメントの実施に取り組みます

J A P A（日本アマチュアポケットビリヤード連盟）との連携もさらに円滑になるよう努力します。懸案となっております神奈川県協会との連携もはかり、今年度はすべての競技が円滑に運営できるよう努力します。特に日本主催大会 ジュニア9ボール 全日本スリークッション 全日本アマ四つ球 全日本女子スリークッションなど感染対策に注意しながら執り行います。

※ジュニアは4月 東京山水 全日本スリーは 5月 東京成増（特設会場）全日本四つ球は5月 東京 学士会館 にて無事終了しています。

### 2 組織

大会トーナメントが再開されたことから理事役員や競技委員会などのスタッフの拡充が急務となっております。今年度 ポケット競技委員会をあらたに設置したいと思っております

### 3 普及事業・普及活動全般

本部より本年も打診があるであろう全日本学校対抗9ボールならびに全日本ジュニア9ボールを主管としておこない、広い若年層の獲得を目指します

コロナウイルスなどで 学生選手権は開催未定となりましたが令和5年からは再開したいと思っております。

### 4 財政規律

厳しい財政状況の中 透明性をもって 活動内容や財務内容を 逐次 整理発信して協会全体に対する 不信感を 極力払拭するように 努力いたします  
加盟店料を滞納している店舗に関しては大会エントリー受付のおことわり  
多年にわたる場合は退会通知をさせていただきます

### 5（公社）日本ビリヤード協会に関する提言

前年提案しました感染ガイドラインの改訂が採択されました  
ひきつづき加盟団体としてさまざまな意見を提言いたします

令和4年6月

令和4年 日本ビリヤード協会関東支部 収支予算書

収入の部		備考	支出の部		備考
会費収入			事業支出		
入会金収入	0		大会開催支出	7,000,000	段位戦メダルなど大会直接経費
正会員会費収入	980,000	加盟店年会費	遠征補助	300,000	
			広報事業費	300,000	年間トーナメントスケジュール作成大会広告料
大会開催収入			段級位認定料	100,000	
関東地区大会収入	7,500,000	段位戦ほかトーナメント	管理費		
	300,000	店舗分担金	支部分担金	500,000	
補助金収入			職員人件費	360,000	職員1名
プレーヤー登録還付	700,000	CSカード本年度1000名	事務所経費	150,000	郵送代事務用品コピーなど
			事務所使用料	360,000	
			雑費	200,000	
			普及振興協力金	150,000	年間協力金15万記載量
			予備費	60,000	
合計	9,480,000		合計	9,480,000	
前期繰り越し金	2,577,620	令和3年度までの繰越金			
収入合計	12,057,620		次期繰越収支差額	2,577,620	

令和4年6月16日

関東支部定時理事会 議事録 令和5年6月15日 14時 森谷ビル 1F 会議室

参加者 森 峰 吉川 甲斐 石井 小嶋 中島 平野 8名 (敬称略)

定刻となり本会の議長を 峰大祐監事がとりおこないました

第1号議案 役員役職選任

理事長 副理事長 会計理事選任議案

会計理事は全会一致で 石井宏理事が選任されました。理事長は審議の結果 賛成多数の上 森陽一郎理事が選任されました。副理事長は甲斐譲二理事が選任され、また理事会の意向により峰大祐監事が監事辞任し、改めて副理事長に選任されました。

新しい理事会の形が議長より提案され全会一致で承認されました

各役職理事の報酬内訳にかんしては次回理事会に持ち越しとなりました

第2号議案 段級位認定 発行に関する事

今まで一括で本部発行していたキャロム段位認定を5段以上とする

4段以下は支部にて認定発行するものとする。全会一致で承認

第3号議案 クラシック賞金問題

平野監事より e-sports の現状と照らし合わせて、クラシックの運営の正当性を説明。有観客で技術を披露できるような大会や 参加費以外の収入を賞金にあてるなどすれば ※観戦料やインターネット配信などの収益 この問題はハウストーナメントも含めクリアできるのではないかという見解。

理事会もこの見解に賛同し引き続きクラシックを支部公認大会として支援していくことで承認

第4号議案 大会報告関連

全日本3クッション選手権大会 特設の運搬費用などがかさみトータル80万円から100万円程度の赤字となる模様。あらたに企業スポンサーを発掘し、状況を鑑みながら特設会場で大会がとりおこなえるよう鋭意努力する

3年ぶりの国体事業ですが6月30日までに 関東支部内各県のとりまとめをおこない佐賀協会に提出する

加盟店活性化委員会では来月以降 未加盟店の勧誘を開始する

以上 第4号議案 全会一致で承認

そのほか

吉川理事より動ける方を広く募集したいので 理事の追加や外部理事の追加の提案がなされました

令和5年6月15日

